

ケース概要

基本情報

- ・氏名：Aさん(仮名)
- ・年齢：30代
- ・性別：男性
- ・診断名：自閉スペクトラム症、
重度知的障害
- ・利用サービス：
共同生活援助（グループホーム）、
生活介護



生活歴

幼少期から言葉の発達の遅れや対人コミュニケーションの困難が見られ、学齢期に自閉スペクトラム症と診断された。特別支援学校卒業後は生活介護事業所を利用しながら地域生活を継続している。現在はグループホームで生活し、平日は生活介護事業所へ通所している。



Aさんってどんな人？



グループホーム
で生活



生活介護事業所
に通所



ドライブや
乗り物が好き



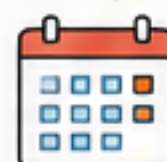
図鑑やチラシを
見るのが好き



一人で落ち着いて
過ごすことが好き



写真やイラストで
理解しやすい



決まった予定や
手順があると安心

好きなこと・得意なこと



ドライブや
乗り物での移動



決まった日課や
手順に沿った活動



図鑑やチラシを
見ることに



写真やイラストなど
視覚的な情報を
活用した活動



一人で
落ち着いて
過ごすこと



見通しが持てる
環境での作業

主な行動上の特徴

活動の切り替えが苦手



事業所に到着しても活動への切り替えが難しく、車から降りるまでに時間を要することがある。特に予定変更がある日はその傾向が強い。

環境変化で確認行動が増える



活動場所が変わると、手洗いやロッカーの確認などを何度も繰り返し、自分なりの手順を増やす様子が見られる。環境の変化による不安を軽減するための行動と考えられる。

食事に時間がかかる



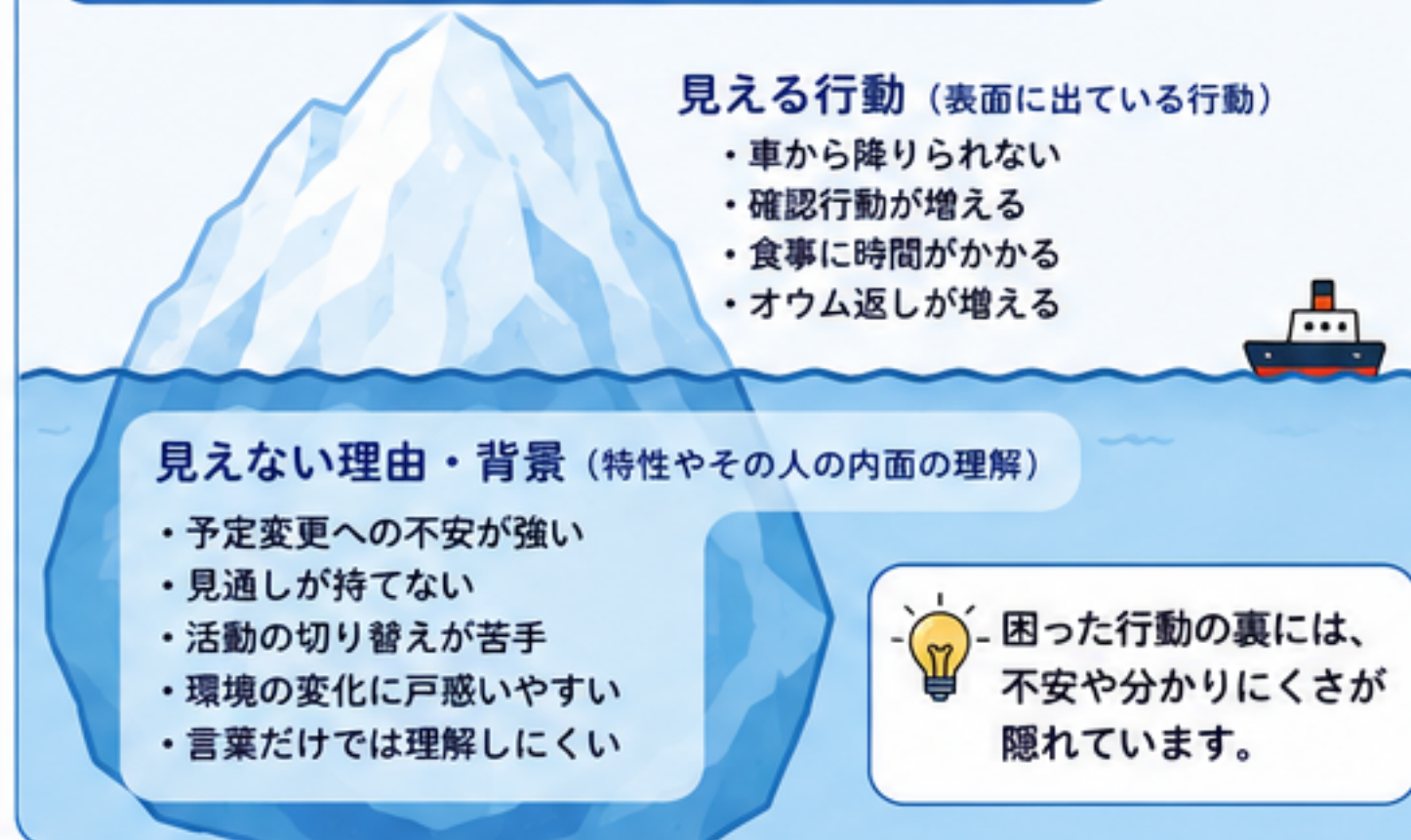
食器の位置や食べ物の並びを確認しながら食べることが多く、一口ごとに動作が止まるため、他の利用者と比べて食事に長い時間を要する。

コミュニケーションの特徴



言葉でのやり取りは限定的で、職員の言葉を繰り返すことがある。口頭による説明だけでは理解が難しい場面もあるが、写真やイラストがあると理解しやすく、落ち着いて行動できる。

冰山モデルで考えるAさん



見える行動 (表面に出ている行動)

- ・車から降りられない
- ・確認行動が増える
- ・食事に時間がかかる
- ・オウム返しが増える

見えない理由・背景 (特性やその人の内面の理解)

- ・予定変更への不安が強い
- ・見通しが持てない
- ・活動の切り替えが苦手
- ・環境の変化に戸惑いやすい
- ・言葉だけでは理解しにくい

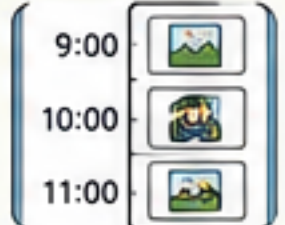
💡 困った行動の裏には、不安や分かりにくさが隠れています。

支援のポイント

写真やイラストで予定を伝える



スケジュールを見える化する



活動前に予告する (切り替えの準備)



切り替え時間に余裕を持つ



環境をできるだけ一定にする



成功体験を積み重ねる



支援の目標



安心して
過ごせる



活動参加が
安定する



不安が減る



自分らしい
地域生活を
継続できる



「困った行動」ではなく、「不安や分かりにくさのサイン」と捉え、Aさんに合った環境を整えることが支援の第一歩です。